

私が学校やめようと思つてたあの頃からもう半年もたつたんだね。きっと佑介がいなかったら今、こうやつて普通の高校生やつてなかったと思う。

私が佑介とメルトモになつたきっかけ。実はね、偶然じゃないんだ。毎日ずっと同じ電車の車両に乗っていたのは、佑介に話しかけられたかつたからなんだ。でも佑介は私のこと気付いてくれた。ほんと嬉しかった。縁があつたからつて、自分勝手だけど考えたりして想い上がつてたんだよ。

初メールを送つた時。すごくドキドキで、ケータイを手離せなかつた。返事がきた時。何て返せばいいのか一生懸命悩んで何度も見直して送り返してたんだよ。あの頃のトキメキは一生忘れられない。

こんなに佑介のこと想つてたのに、「メールできない」なんて、どうして送つたんだろう。今まで、いや、いまだに後悔しているんだ。

この頃、私は事件を起こし、停学処分を受けた。その時すごく心が不安定で、死んじ

佳 作

やえば楽かなあとかつて考えてるほどだった。でも、佑介のことが心残りだったんだ。だから外部との連絡禁止だったのに、佑介にだけメールした。「学校やめるから、もうメールしないで」つて。そしたら佑介はすごくはげましてくれたね。ありがとう。その佑介の優しい言葉の支えがなかったら、きっと私はずっと不安定なままだった。生きていられなかつたよ。今、こうやつて存在していられなかつたかもしれない。そう考えると、本当に佑介に感謝せずにいられない。

今、佑介には彼女がいて、私は相手にされていないのはわかつている。メールとでだって、アドレスかえてもうつながっていない。何も接点はないのに、今の私を支えているのは佑介なんだよ。あの電車で毎日会つたり、メールしてた頃の記憶が現実になることはもうないけれど、また、私のこの恋心に気づいて話しかけてくれることを夢見て待つてゐるから。